

# 令和8年度 学習評価について

令和8年5月1日  
猪名川町立清陵中学校

## 1 目標に準拠した評価（絶対評価）を行います。

目標に準拠した評価（絶対評価）とは、学習指導要領に示す目標がどの程度実現したか、その実現状況を見る評価のことを指します。

※「集団に準拠した評価」（いわゆる「相対評価」）は、学年や学級などの集団において、どのような位置にあるかを見る評価のことを指します。

## 2 目標に準拠した評価（絶対評価）では

- ① 子どもが学習指導要領に示された基礎的・基本的な内容を確実に習得したかどうかを評価します。
- ② 一人ひとりの進捗の状況や教科の目標に対してどれだけ達成しているかを的確に把握し、子どもに合った学習指導の改善を行うことができます。
- ③ 子どもが獲得した学力を正しく評価することができます。
- ④ 子どもの学力が教師の目指す教育目標に達しているかどうかを点検でき、教師の指導改善に役立てることができます。
- ⑤ 少子化等により、学年、学級の児童生徒数が減少する中で、評価の客観性や信頼性を確保することができます。

## 3 「観点別学習状況評価」について

学習評価は、学校における生徒の学習状況の評価するものです。

### 【評価の目的】

- ・生徒にどんな力が身に付いたか、学習の成果を的確に捉え、教員が指導の改善を図る。
- ・生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにする。

### 【評価の観点】

各教科における観点別学習状況の評価の観点については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価します。（9教科共通）

#### ■知識・技能

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況の評価します。また、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価します。

#### ■思考・判断・表現

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価するものです。

#### ■主体的に学習に取り組む態度

知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかを評価するものです。

### 【観点別学習状況の評価】

それぞれの単元における観点別の評価の仕方は、次のように「A・B・C」の3段階で評価します。

十分満足できる：A    おおむね満足できる：B    努力を要する：C

### 【評定】

観点別学習状況の評価を基に、各教科の学習の状況を総括的に評価するもので、次のように5段階で示します。

十分満足できるもののうち、特に程度が高い：5    十分満足できる：4

おおむね満足できる：3    努力を要する：2    一層努力を要する：1

## 4 観点別学習状況の評価の総括

### (1) 単元における観点ごとの評価の総括

国社数理英体美及び1,2年の技術科及び家庭科は、観点別学習状況のみで評価します。

各単元の終了時点において、各観点の複数の具体的評価目標をまとめて1つの評価にします。その際、何回か行った評価結果ABCを、A3点・B2点・C1点として得点化し、その平均点によって総括します。

(例)

観 点	教材1	教材2	教材3	教材4	単元1
					平均→四捨五入→評価
【知識・技能】	A→3	A→3	A→3	A→3	3.00→3→A
【思考・判断・表現】	C→1	B→2	B→2		1.66→2→B
【主体的に学習に取り組む態度】	A→3	C→1	A→3	B→2	2.25→2→B

### (2) 学力テスト（全学年音楽、3年技術と家庭科 各学期末）の観点別総括

全学年の音楽及び3年技術科、家庭科でおこないます。国社数理英は、従来の学力テストの代わりに実力テスト（1,2年）又は、模擬テスト（3年）を行います。

学力テスト（学期末）の問題において、それぞれの問題がどの観点に対応するかをあらかじめ決めておきます。観点別の問題においては、80%以上の得点率であればA、80%未満50%までをB、50%未満をCとしてテスト1回ごとに評価します。

(例) 学力テストの評価

観 点	学力テスト		
	得点/配点	得点率	評価
【知識・技能】	35/45	77.7%	B
【思考・判断・表現】	30/55	54.5%	B

\*学力テストにおける【知識・技能】の問題の配点が45点で、得点が35点だったとすると、77.7%の得点率なので、学力テストにおける【知識・技能】の観点別評価は「B」となります。その他も同様にして評価を決定します。

\*【主体的に学習に取り組む態度】については、原則としてペーパーテストでは評価しません。

### [実力テスト（1,2年）模擬テスト（3年）の取り扱いについて]

実力テスト・模擬テストについては、既習内容全体を出題範囲とするため、評価の対象外とします。

(3) 学期末(学年末)における観点ごとの評価の総括(各単元の評価及び学力テスト)

各学期(学年)に学習した全ての単元及び学力テストについて、評価された結果を集計します。その際、ABCをA3点・B2点・C1点として得点化し、その平均点で総括します。

学力テスト1回分は、一つの単元と同等の扱いとなります。

(例) 4単元学習し、学力テストを行った場合の単元集計総括

観 点	単元1	単元2	単元3	単元4	学力テストを 実施する教科	学期末 単元総括
						平均→四捨五入→評価
【知識・技能】	A→3	A→3	B→2	C→1	B→2	2.2→2→B
【思考・判断・表現】	B→2	A→3	A→3	A→3	B→2	2.6→3→A
【主体的に学習に取り組む態度】	B→2	B→2	B→2	B→2	—	2→2→B

\*上記【知識・技能】の単元総括の仕方

合計点数(3+3+2+1+2)÷(単元数(4)+学力テスト(1))=2.2 <四捨五入して2> → B  
よって【知識・技能】の学期末の観点別評価の総括はBとなります。

5 観点別学習状況の評価の5段階評定への総括

総括された観点別学習状況の評価A、B、Cをそれぞれ3点、2点、1点に得点化し、その合計点を5段階の絶対評価として総括し、評定を出します。各観点は独立した評価項目であるとの考えに立ち、各観点の重みをつけずに全て均等として扱っていきます。

(例)

観 点	観点別総括	総括得点	学期の評定
【知識・技能】	B	2	4
【思考・判断・表現】	A	3	
【主体的に学習に取り組む態度】	B	2	

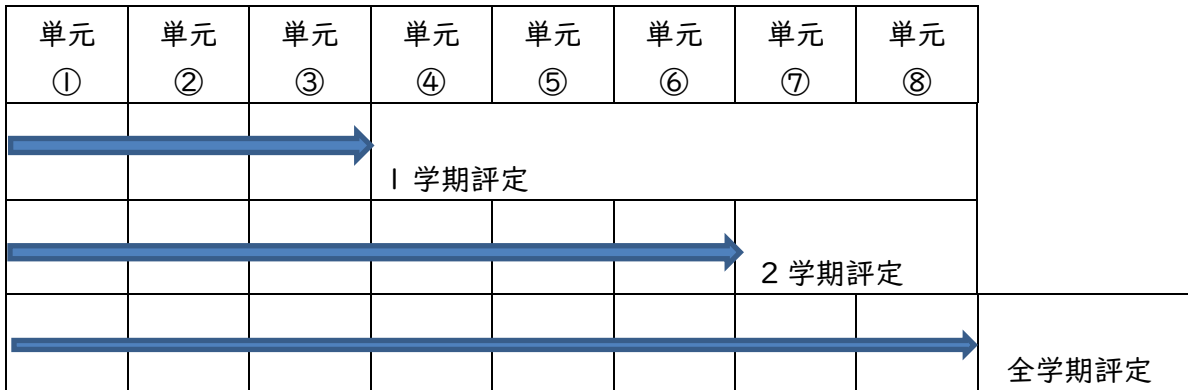
\*合計点数：2+3+2=7 9点満点に対する7点の割合は7÷9=0.77(77%)  
→ 評定は「4」(5.4.3.2.1の基準は下の表を参照)

ABCの組み合わせ	5段階評定
AAA	合計9点 得点率100%→5
AAB	合計8点 得点率89%→5
ABB	合計7点 得点率78%→4
AAC	合計7点 得点率78%→4
ABC	合計6点 得点率67%→3
BBB	合計6点 得点率67%→3
ACC	合計5点 得点率56%→3
BBC	合計5点 得点率56%→3
BCC	合計4点 得点率44%→2
CCC	合計3点 得点率33%→1

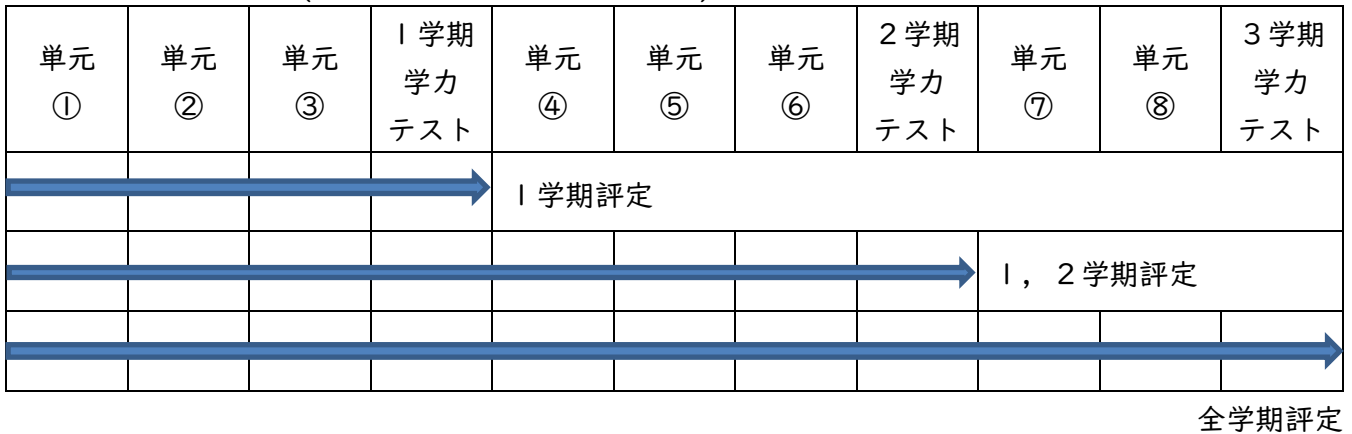
## 6 各学期の通知表における評定について

通知表の評定について、1学期は1学期に実施した単元及び学力テストの総括が評定の数字となります。2学期については、1・2学期に実施した単元及び学力テストの総括で算出します。3学期は全学期で実施した単元及び学力テストの総括で算出します。

通知表の評定のイメージ図（国社数理英美体及び1,2年の技術科、家庭科）



通知表の評定のイメージ図（音楽及び3年技術科、家庭科）



## 7 実力・模擬テストの実施日と実施科目について（音楽と3年技術科、家庭科は学力テスト）

6/18 (木)	6/19 (金)	6/22 (月)	11/11 (水)	11/12 (木)	11/13 (金)	2/18 (木)	2/19 (金)	2/22 (月)
3年技家	音楽	社会	3年技家	音楽	数学	3年技家	音楽	英語
以下授業	国語	理科	以下授業	社会	国語	以下授業	数学	理科
1,2年は 全日授業	英語	数学	1,2年は 全日授業	理科	英語	1,2年は 全日授業	国語	社会

実力（1, 2年）模擬（3年）テストを行う教科は、「国語、社会、数学、理科、英語」を基本とします。但し、全学年の音楽及び3年生の技術科・家庭科については、学力テストを行います。1, 2年の技術科、家庭科及び美術と体育については、学力テストを行いません。なお、各学力テストにおける出題内容については、1学期は1学期の範囲のみからの出題、2学期の学力テストは、おおむね2学期の範囲、3学期の学力テストは、おおむね3学期の範囲を出題します。（学期の出題範囲とは、概ね前学期の学力テスト終了後～その学期の学力テスト前までになります。）